

【精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため会議を中止し書面による意見交換としますので、アンケートのご記入について、ご協力いただきますようお願いいたします。(1月27日までにご回答いただけると幸いです)

1	<p>退院後支援を行う中で日頃、課題として感じていることをご記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域でどのように生活するか十分に検討・準備できていないまま、退院となるケースがある。退院時に退院カンファレンスの開催を依頼しておいても、連絡ないまま退院していることがある。</li> <li>・病識のない患者への受療継続支援。支援拒否があると関わりをもちづらい。</li> <li>・措置入院を繰り返すケースへの支援について。</li> <li>・問題行動が、精神症状というよりは性格や発達の問題であるケースへの支援について。</li> <li>・本人の希望に沿うように考えていきたいが、制度や資源に柔軟性がない。(施設の定員、疾患名での受け入れ可否がある)</li> <li>・居住するところに苦慮することがある。</li> <li>・独居ケースの場合の、日常の見守りについて。</li> <li>・夜間や連休時の支援が不足している。(訪問看護24時間対応が少ない)</li> <li>・マンパワーの不足。</li> <li>・親亡き後の支援や、家族の精神障害に対する理解が不足しているケースへの支援について。</li> <li>・地域住民に対して精神障がい者を理解してもらうための活動が十分にできていない。</li> <li>・本人や家族への支援ということは考えても地域への支援まで考えて支援できていない。</li> <li>・医療機関への通院が途絶えてしまった時の医療的アウトリーチの体制が一部しかなく、受診中断者への対応が十分とはいえない。</li> <li>・入院時に関わったケースについて退院の連絡が病院からないため、把握ができないことがある。</li> <li>・病識のない患者が入院中も内服できず退院となることがあり、医療が定着しないため問題行動が再発する。</li> <li>・支援者として必要と感じるサービスを本人が求めている場合にサービスを入れることができず多機関で関わるということができないことがある。</li> </ul>
2	<p>貴院・貴施設において関係機関との連携の上で大切にしていることをご記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関と、状況について随時連絡を取り合っている。</li> <li>・各々の機関の役割、支援の方向性を適宜確認する。</li> <li>・お互いの役割が理解、尊重できる関係を保つこと。「連携」という言葉だけがひとり歩きしないよう、押し付け合いや責任転嫁、丸投げをしないように気を付けている。</li> <li>・コミュニケーションをとる機会を増やす。</li> <li>・他機関から相談があった場合、センターで対応できることが分からなくても一旦聞き、受け止める。</li> <li>・必要に応じて訪問や受診がある際は、他機関と同行するようにしている。</li> <li>・本人の思いをできる限り尊重した支援を大切にしている。</li> <li>・それぞれの支援内容を共有して、次の支援に繋げていく。</li> <li>・1つの機関だけでは対応できないため、他の機関と役割分担をしながら対応していく。</li> <li>・1つの機関だけで抱え込まない、抱え込ませないよう注意している。</li> <li>・精神障害を抱えながらその人らしく生活できることが大切であるため、患者一人一人に対する症状の特徴など理解して支援できるように情報共有するように努めている。</li> <li>・本人の思いを尊重して支援できるように努めている。</li> </ul>

3	<p>お送りした資料を見ていただき、地域の精神保健福祉についてご意見等をお聞かせください。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域生活支援をする上では、医療や福祉だけでなく、住まい・経済・社会参加等、様々な分野との連携が重要だと感じた。まずは、地域の社会資源を知り、アセスメントする必要があると思った。</li> <li>・関係機関同士、場合によっては領域を超えた役割でも、すり合わせをしながら取り組んでいく位でないと包括的な視点は見えてこないと感じる。</li> <li>・市として地域包括ケアの拠点・相談窓口をどこにしていかが不明確。(高齢者の地域包括ケアとの違い)</li> <li>・地域の精神障害への偏見がまだまだ根強い。</li> <li>・家族会や当事者会の活動がより活発になるとよい。</li> <li>・精神保健福祉士は地域との繋がり殆ど無いので、地域とのつながりがある保健師と一緒に地域へ出て、地域の精神保健福祉について考えていかななくてはいけない。</li> <li>・リムラッドで在・退院者を調べられることは今回初めて知った。今後、どのように活用していくと地域の精神保健福祉や精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築に繋がっていくか検討が必要になる。</li> <li>・精神障害について偏見が関係機関のなかでもあるのではないかと感じることもある。包括ケアシステムの構築のためにまずは関係する職員等の理解がないと前に進まない。</li> <li>・問題があればすぐに受診・入院と思われることがあるが、長期的なかかわりが必要であるケースも多いため精神障がい者への支援を関係機関と共に理解し考えていきたい。</li> </ul>	
施設名	保健所市民健康センター